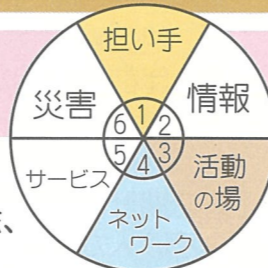


寿東部地区 第2期計画（平成22年度～平成27年度）

気持ちに通じるまちづくり

子どもから高齢者まで、各々の活動をつなげることで交流が生まれるために・・・



取組

寿東部地区社会福祉協議会の会員団体（老人クラブ、子供会、町内会、民生委員・児童委員、体育指導委員、青少年指導員、保健活動推進員、友愛活動推進員等）が連携をとれる関係をつくります！

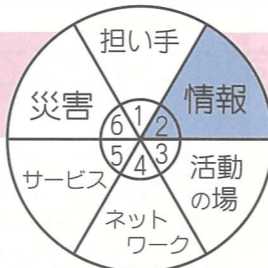
具体的な方法

- ・地区社会福祉協議会で研修会を実施し、会員団体の連携を図ります。
- ・バス旅行や盆踊り、餅つきなどのイベントを通じて、顔見知りから仲間づくりへ発展させ、日常の見守りや、支えあいにつながる関係をつくります。
- ・町会活動や団体活動を通じて得られた課題について情報を共有化し、地区社会福祉協議会として解決策を検討します。
- ・子供会やPTAと連携したり、団塊世代の経験を活かして高齢者と子どもが交流できる機会をつくります。
- ・各地域の特色を活かして外国の方と交流を行います。

6年後の将来像

- ・地域の中で異世代交流や各関係機関の連携が円滑に行われ、ネットワークが充実している。

地区別計画についてもっと住民に知ってもらうために・・・



取組

「寿東部地区社会福祉協議会」の名を前面に出して、活動します！

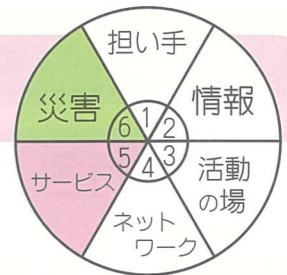
具体的な方法

- ・地域の福祉保健活動マップやハンドブックを作成し、既存の活動を宣伝します。
- ・地区社協広報紙を発行したり、地区社協PRのちらしを作成します。
- ・回覧物に地区社協の名称を掲載して、知名度の向上を図ります。
- ・地域ケアプラザの広報紙や区社会福祉協議会のホームページを活用して、地区社協の活動を紹介します。
- ・地区社会福祉協議会が主体となって福祉保健に関する出前講座等を行い、あわせて地区社会福祉協議会の活動をPRします。

6年後の将来像

- ・地区社会福祉協議会の情報が常に地域に発信され、知名度が向上している。

災害時や日常の困った時にお互いに支えあうことのできる地域づくりのために・・・



取組

災害時に限らず隣近所での見守りや支えあいについて検討します！

具体的な方法

- ・地域住民が災害時の取組に対して理解を深め、自助・共助の意識を高めるための啓発活動を行います。
- ・町内会が実施する要援護者名簿作成を支援し、活用の方法や支援体制について検討します。
- ・高齢者等定期訪問事業と連携し、地域の中で見守りが必要な要援護者を把握します。

6年後の将来像

- ・地域住民への災害に関する啓発活動がすすみ、地域全体の防災意識が高まっている。



ふれあい懇談会



寿東部チューブ体操